

会 議 録

会議の名称		第3回 第2次つくば市緑の基本計画策定委員会		
開催日時		令和7年(2025年)11月10日(月)開会14:00 閉会15:45		
開催場所		つくば市役所2階 202会議室		
事務局(担当課)		建設部公園・施設課		
出席者	委員	野中委員(委員長)、栗田委員、藤井委員、和穎委員、坂口委員、常國委員、田中委員、三石委員、山田委員		
	事務局	栗原建設行政担当理事、山口課長、林課長補佐、藤井係長、海老澤係長、関川主任、鈴木主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	3名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 今後のスケジュールについて (2) 市民アンケートの修正案について (3) 市民ワークショップ案について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開会 2 議事 3 その他 4 閉会			

1 開会

司会

定刻になりましたので、ただいまから第3回 第2次つくば市緑の基本計画策定委員会を開会いたします。

委員の皆様にはお忙しい中、策定委員会に御出席をいただきありがとうございます。

まず初めに、本日の委員出席数及び会議の公開について事務局から報告をお願いします。

事務局

本日の委員会は、委員数 13 名のところ、8 名出席しておりますので、要項第 6 条第 3 項の規定により、本日の会議が成立していることを御報告いたします。

本日の委員会については、つくば市情報公開条例第 5 条各号に規定する不開示情報を含まないため、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第 3 条に基づき公開といたしますことを御報告いたします。

なお、傍聴される方におかれましては、配布いたしました「傍聴に関する注意事項」を御一読いただき、遵守していただきますようお願い申し上げます。

司会

それでは、以降の進行につきましては、要項に基づき、委員長に議長をお願いすることになっておりますので、よろしくお願いいたします。

2 議事

委員長

それでは、会議次第に基づき議事を進めて参りたいと思います。

まず 1 点目「今後のスケジュールについて」事務局から説明をお願いします。

事務局

〔事務局説明〕

委員長

只今の事務局からの説明について、委員の皆様から御質問・御意見等ありますでしょうか。

委員

アンケート調査の内容については、今回結論を出さなければならないスケジ

ュール感であることがわかりました。しかし、今回の委員会前にアンケートの内容に関する資料をもらったのが直前だったので、もう少し吟味する時間があったても良いと思いました。また、次の委員会までに期間があるにもかかわらず、1～2回の委員会で計画の内容を決めないといけないため、せっかく委員会という場があるにも関わらず委員の皆様の意見を反映する機会が少ないと感じます。例えば委員会という形でなくとも、委員会の合間にメール等で進捗を共有したり、意見を伺うなどした方が、きめ細やかな内容になるのではないのでしょうか。

事務局

今後、計画案を検討するにあたり、委員の皆さまに個別に相談する場を設けたり、委員会を前倒しで開催できた場合には、委員会の開催回数を増やすことなどを検討したいと考えています。

委員長

アンケートについては前回の委員会でも委員の皆さまの意見を伺った上で、事務局の中で検討してきた経緯もあります。今後も委員と密に意見交換しながら内容の検討を進めていきたいと考えておりますので、私からもお願いしたいと思います。

他に御質問・御意見等ありますでしょうか。

では、続いて2件目「市民アンケートの修正案について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

〔事務局説明〕

委員長

この議事について、委員の方々から御意見等ありますでしょうか。

委員

研究者が多いからという理由で問2の選択肢の最初に研究職がありますが、何か意図があるのではと思ってしまい、別の選択肢を選んでしまう方もいるのではないかと思いますので、選択肢の順序を変えた方が良いのではないかと思います。

また、ワークショップとも関連することなのではないかと思いますが、大問3の緑への貢献という話が唐突に出ていますが、「市民の皆さんに助けてもらわないとうまくいかない」という意図が前面に出すぎているのではないかと思います。また、労力や資金という言葉は生々しいため、「皆さんで作っていきましょう、考えていきましょう」など、表現を工夫したほうが良いと思います。

事務局

大問3では市民が参画できる緑への貢献について伺うこととしており、その中には知識の提供なども一つの貢献の形として位置づけていることから、回答者の属性として、知識を持っている方の代表例である研究職という選択肢を設けております。会社員の方の中にも研究系の業務に携わる方がいるのではないかとこの想定のもと、このような方が会社員ではなく研究職を選んでいただけるように、1番目の選択肢に設定しています。この順序は御指摘のとおり一般的ではないと思いますので、再度検討したいと思います。

委員長

アンケート調査については、12月上旬の実施から逆算すると、できる限り今回で決定したいところです。一旦ここで皆様の御意見を伺いたいと思いますがいかがでしょうか。研究職の順序については、例えば「4. 公務員」の後でいかがでしょうか。

委員

それが無難ではないでしょうか。

委員長

それでは、研究職の選択肢の順序は公務員の後ということでよろしくお願ひします。

それでは2点目について、事務局からお願いします。

事務局

問13については、前回の委員会での御意見も踏まえ、行政が取組むだけではなく、市民が主体的に参画する取組みについて何う形としました。選択肢としては「労力の提供」や「資金・物品の提供」「知識・知恵の提供」といった表現を案では採用していますが、より柔らかく、適切な表現がありましたら変更を検討したいと考えています。

委員

「提供」という表現に違和感があります。

また、緑の現況や課題に対する認識とさまざまなお力を提供してもらうことについて何うことは良いと思いますが、その前に、緑に対して何がしたいか、何ができるかについて伺ってからの方が、回答者にとっては答えやすいのではないのでしょうか。緑の現況や課題についての問いの後に、唐突に緑への貢献について問われると答えづらい印象を受けます。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

委員長

何をしたいか、何ができるかについては、具体的な選択肢ではなく自由記述した上で記載してもらうということになるのでしょうか。

委員

回答する側からするとそれが理想的であると思います。

委員

同じところに違和感を感じました。別の話になりますが、PTA活動においても、関わりたい、協力したいけれど、参画してくださいという意図が前面に出すぎると、合意を形成し、協力していくという形にはならず、トーンダウンし

てしまうことがあります。みんなで緑の魅力を再認識したり、関わっていいという機運も必要だと思います。できる人だけに何ができると聞くのではなく、例えば地域の花壇づくりに参加したいとか、子連れで参加できるイベントがあるといいなとかどういう関わり方をしていきたいか、を探ることが大事だと思います。その中で特別すごいことができる人がこういったことでも貢献できますとか、道具貸し出せますといったこともあります。そこだけではなく今まで関わってこなかったり、関心はあるけれど、どのように関わっていいかわからない方とかは情報をもらうだけでも嬉しいという方もいるかもしれないですし、そういった聞き方のほうが良いのではないかと思います。

委員

「あなたができる」という表現を「あなたがやってみたい」という表現に変えるかどうかという御意見だったかと思います。確かに「できる」という表現ではハードルが高く感じるので、「やってみたい」に変えるといった、機運を拾っていくような聞き方があるだろうと思います。

また、問 13 の表現が重要だと思います。「労力の提供」という言葉は負担感が強くなってしまうので、「手伝ってみたい」や「協力できる」という表現だと回答しやすくなると思います。その他の選択肢についても、もう少し柔らかい表現があると印象が違うと思いました。選択肢は「知識」から始まっても良いのではないかと思います。

「バックアップ」という表現も気になっておりまして、ここで問いたいのは市民活動を応援する仕組みだと思いますので、「サポート」、「支援」「応援する制度」、「一緒にやる制度」など、表現が変わると良いと思います。

また、この案では、回答者が今何をやっているか、関わっているかについてダイレクトに聞けていないのではないかと思います。「日常的に庭や近くの花壇の手入れをしている」、「周りの人とプレイパークをしている」といった活動を聞くような設問が最初にあって、その後やってみたいことを問う順番

の方が良いのではないのでしょうか。先ほど自由記述という御意見もありましたが、選択肢がある方がイメージしやすいと思います。

委員長

その他いかがでしょうか。

委員

大問3が「できる」から「やってみたい」に、問13の各選択肢が柔らかい表現に変わるのであれば、具体的にやってみたい内容については後段の設問で自由記述できる選択肢もあるので、そのような形でもよいと思います。

委員長

設問を作る上で難しいのが、回答して返信していただく必要があるので、量が多いと回答率にも影響してしまうことから、たくさん増やすことは難しいと思いますが、その中でもいくつかの工夫でより情報が収集できるものは、全体の分量を見ると1つ2つ増やすことは可能ではないかと思っています。

事務局、いかがでしょうか。

事務局

御指摘のとおり、回答者が今やっていることについては設問がありませんので、問13の前に1問追加を検討したいと思います。問13の選択肢等についても柔らかい表現に変更を検討したいと思います。

委員長

今事務局からありましたように、問13の前に「今やっていること」に関して複数回答可能な選択式の設問の追加、大問3全体としては漢字や体言止めの表現ではなく「協力してもよい」などの柔らかい表現に変更する方向で検討するという事でよろしいでしょうか。

委員

今日アンケート案を決めるということではなく、アンケートを実施する前に、再度各委員に市民目線で見えていただける時間を設けた方が良いのではないでし

ようか。

委員長

大問3の修正については、この場で決めることができる内容ではないと思いますので、一度事務局で修正案を検討の上、改めてアンケート実施前に各委員に情報共有させていただき、できれば12月上旬にアンケート調査が実施できると良いと思います。

その他いかがでしょうか。

委員

問1の年齢区分については、一般的な年齢区分で問う方が分析しやすいのではないかと思います。

問6の居住年数については、1年未満を追加した方が良いと思います。5年経つと地域活動に精力的な方もいらっしゃいますが、1年くらいではまだ探っている段階にあるかと思いますので、そういった方々にどう関わっていただくかを考えるとこの選択肢は重要だと思います。

また、緑の基本計画を、緑の量・質・更新の観点と公共や民間などの役割分担などについてまとめていくのであれば、問7・8・9で、緑の質・量・更新のいずれに該当する課題であるか、公共の緑、民間の緑のいずれであるのかといったことが分けて分析できる内容になっている方が望ましいのではないかと思います。現在の案では、自分の所有地以外の緑が問9でひとまとめになっていますが、問8と9で公園や街路樹などの公共で管理するものと民間が管理するもので役割分担することで、所有区分による違いが整理できるのではないかと思います。あるいは選択肢の設定で量・質・更新を少し意識して検討いただくと良いと思いました。

第2回委員会で示されたアンケート案と比較すると、全体的には圧倒的に良くなったと思います。また、制度の内容がわかるパンフレットやQRコードを付けるということは、とても良いと思います。

委員長

問１の年齢区分については、その他ご意見ありますか。もう少し細かい区分であることが一般的ですが、事務局の方でいかがでしょうか。

事務局

年齢区分については、つくば市が実施している他のアンケートの事例を参考に一般的な区分に合わせたいと思います。

委員

子育て世代について聞きたいのであれば、別の設問でダイレクトに問うという方法もあるかと思いますので、分析したいところに合わせて御検討いただくのがよいと思います。

委員長

事務局としては、他の事例を確認しつつ、一般的な年齢区分に合わせるということ。

事務局

御指摘のあった方向性での修正であれば、年齢区分についてはより詳細に分析できる形になるので、一般的な区分に合わせる形で修正したいと考えています。子育て世代かどうかなどについては、全体の分量をみて設問を設けるか検討したいと思います。

委員長

問６に１年未満を加えることについてはいかがでしょうか。

事務局

追加する方向で検討します。

委員長

問８、問９については公共で管理しているところとそうでないところを分離するという御意見だったかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

問８、問９については、案を作成している段階では回答者自身が管理していない緑については、公共のものか民間のものかが一般的には区別しづらいのではないかという想定をしたため、このような案としました。しかし、分析に当たっては、御意見があったように設問を分けた方がよいと思いますので、修正したいと思います。空き家については、削除する方向で考えています。

委員

問９に、「あなたの自宅や所有地以外の緑…」とありますが、この表現では自宅や所有地の緑を除いた緑について回答してほしいという意図が正しく伝わらない可能性があります。修正に当たっては「公園・道路などの公共の緑」などの表現にした方がよいのではないかと思います。

委員長

事務局の方はよろしいですか。他にいかがでしょうか。

委員

問８、問９に緑の種別の例示が無く、何について回答してほしいのか、対象があいまいでここから抽出されたものでは課題が見えてこないと感じました。公共の緑を良くして欲しい人もいるし、山の近くにいる人は藪化しているところが困るとか、地域によって違うかもしれない。

お住まいの近くの緑について回答してほしいということは、今日の説明を聞いて分かりましたが、つくば市全体の緑も身近な緑として捉えようとすれば捉えられるので、緑の種別が具体的にイメージしやすいような設問の方が回答しやすいし、課題も抽出しやすいのではないかと思います。

委員長

公共の緑には、公園や道路があり、雑木林や里山的なものもあり、実際のところ公共のものなのかどうかよくわからないということもあるのかもしれませんが。少し悩ましいですが、何か事務局の方でお考えなどありますでしょうか。

事務局

1点、お考えをお聞かせください。計画が対象とする緑については、依頼文裏面に図示等していますが、基本的にはこのような緑で、かつ、身近なものについて回答していただくということを想定していました。

御意見としては、「身近な緑」の定義をより明らかにすべきということでしょうか。あるいは公共の緑と民有の緑について設問を分けるべきという御意見だったのでしょうか。

委員

どちらもよいと思いますが、何を抽出したいかだと思います。緑の基本計画では公共の緑も扱いますし、それ以外の緑、例えば農地や山林の緑なども課題を抽出していった、その後につなげようという計画ですよね。なので、ざっくりとした緑をどう思いますかではなく、こういう緑に関してどういう困り事がありますか、とか、魅力がありますか、というものがないと、ぼんやりした回答しか見えず、計画の中にアンケートの結果が反映されないのではないかと思います。

委員長

委員の方からもし何かあれば、補足していただけると。

委員

本来であれば里山や農地など細かい緑の種別ごとに分けて聞く方が良いかもしれませんが、それだと設問数が多くなりすぎると思います。アンケートの実施に当たっては調査区を設定するという説明がありましたので、例えば「田園北地区では公園の緑についてではなく、農地について回答しているのであろう」などと、ある程度推測しながら分析していくことになるのであろうと思います。しかし、例えば維持管理が適切に行われていないのは農地なのか公園なのかで話が結構違ってしまうなど、何を意図して回答しているのか、課題の部分は明確にしておいた方がよいと思います。公共の緑か民間の緑かだけでも分ける方がよいのかなと思いました。

委員長

属性に関する設問でお住まいの大字を聞いているので、クロス集計の中でその地域の緑をある程度類推する、クロス集計の中で導き出されることもあるというようなご指摘だと思います。事務局、いかがでしょうか。

事務局

依頼文裏面の計画が対象とする緑の中で、公共の緑や民間が所有する緑などを分類し、もう少し具体的に各設問でお聞きする緑がどれであるか説明を加えさせていただく方向で検討したいと思います。

委員長

これについて、いかがでしょうか。

委員

問8と問9の抜けている部分として、藪化していて誰が管理しているかわからない緑とか、研究所・大学の緑など、どの設問で回答すべきかがはっきり分からないがために、想定していない設問で回答されてしまうのではないかと思います。

やはり設問を、自分で所有している緑と、公共の緑、それ以外の緑の3に分けていただく方がよいのではないかと思います。それぞれどのような緑について回答してほしいかを整理した上で、計画が対象とする緑で表現されていれば良いと思います。

この設問は最終的に計画の中で、3つの地区と量・質・更新を掛け合わせ、どの地区はどれが課題であるかといったところに対応してくるので、そういったことも想定しながら、設問と説明の図をうまくつなげていただくのが良いと思います。

委員長

事務局、いかがでしょうか。

事務局

大まかには、自分で所有している緑と、公共の緑、それ以外の緑の3つに分類させていただきたいと思います。あわせて、計画が対象とする緑の図中、水面・水辺などの緑の種別の下に、公共の緑などの分類を明記することで、回答者に設問の意図が伝わるような修正を考えていますが、いかがでしょうか。

委員

3つに分けた設問の選択肢が同じになるのであれば、問19のような表形式での聞き方も有りうると思います。この聞き方であれば回答者の負担も減るのではないのでしょうか。

事務局

自己所有の緑と自己所有以外の緑では課題の感じ方が異なるであろうことから、現在は選択肢を一部整合させていません。自己所有以外の緑を公共の緑とそれ以外の緑に分けた場合に、選択肢が同様であれば、表形式も検討したいと思います。

委員長

自己所有の緑については選択肢を工夫していただいているところかと思うので、設問を再構成する際に選択肢も吟味していただいて、同様になるのであれば表形式も検討いただく。

委員

依頼文裏面の計画が対象とする緑の説明の中で、つくば市では私有地、公共の緑、それ以外の緑、3つそれぞれで市として、市民としてそれぞれ何ができるのか考えていきたいという趣旨のアンケートだという説明を加えていただくのがよいと思います。

事務局

今いただいた御意見も踏まえて、説明の追加を検討します。

委員

ピントがずれるかもしれませんが、ゼロカーボンに関連して、今後地球温暖

化が顕在化していく中で、市民がどのくらい関心を持っているか、緑を育むことでそれが少しでも抑えられるか、という情報を持っておく方が良いと思います。もしその情報が必要であれば、問7の「7. 暑さを和らげることができる」という選択肢を、少々抽象的にはなってしまいますが、地球温暖化の緩和に貢献できる、といった選択肢に変えてもよいのではないのでしょうか。皆さまどう思われますか。

委員長

個人の活動が、地球規模の課題解決につながっているということも設問に現れた方がよいのではないかという御提案です。いかがでしょうか。

委員

グリーンインフラの観点がこのアンケートでは薄いと感じています。問7の選択肢に一応挙げられていますが、もう少し具体的に挙げられていてもよいと思いました。アンケートは、課題抽出だけでなく市民との合意形成とか意識の確認といった意味もあると思います。他市の事例にあるように、「このような考え方があると知っていますか」「生物多様性という言葉を知っていますか」というような事を聞くことで市民の意識を探る方法もあります。地球温暖化のような地球規模の大きな話やグリーンインフラの観点なども、入れ込んでほしいです。フォーカスするのも大事ですが、大きな話をどのくらい地域でできるのか探ってほしいと思います。

事務局

アンケートの設問作成に当たっては、市民の皆さまがイメージしやすいものになっているかという点に留意しています。グリーンインフラやゼロカーボンについては計画上では位置付けていくことを検討したいと考えていますが、アンケートの限られた分量の中でこれらの観点を正しくお伝えすることは難しいと判断しました。まずは、身近に目にする緑についてお聞きする方が有効な回答が返ってきやすいと考えています。

緑の機能については、第2回策定委員会で整理したものだけで7つあり、個別に市民の意識やニーズを聞くと設問数が増えすぎてしまうことから、案では採用を見送っています。

委員

7つある緑の機能のうち、市民が重要と考えている機能を3つまで選んでいただくような設問があると、限られたリソースの中でどの施策を優先するのかといったことを検討することができるので、必要なデータになるのではないのでしょうか。

委員

依頼文の説明にありながら、対応する設問がないのはもったいない気がします。大問4の自由記述の設問の前に、「7つの機能のうちどれが重要か」や、「関心が高い機能はどれか」などの設問を入れることで、身近なことから大きな緑の機能のことへ意識を繋げられる、と思いました。

委員長

7つの機能について、問20の前に設問を設けてはというご意見でしたが、事務局、いかがでしょうか。

事務局

設問を追加する方向で検討します。

委員長

依頼文もふくめてページ番号を振り、設問には何ページのどの図を参照の上回答してくださいなどと記載して誘導すると良いでしょう。

他いかがでしょうか。

委員

課題ばかりが強調されると、貢献することが難しいという気持ちになりますが、緑を維持することや大切にしていけることがどのようなことに繋がっていくか分かると、大問3の緑の貢献について聞く上で、回答を引き出しやすいと感

じます。緑の基本計画としては市民の協力が必要で、市民全体が考えていくことが必要になってくると思いますので、問 20 の前で聞くより、大問 3 の前に聞いた方が流れとしては良いと思いました。

事務局

例えば、リード文に緑を大切にすることでこういった緑の機能が十分に発揮されることに繋がる、などという形で緑の説明を入れさせていただいた上で、緑への貢献に繋がる流れになるよう、設問の順番も検討したいと思います。

委員

問 7・8・9 で使われている「好ましい点」という言葉に違和感を感じます。「魅力的な点」の方が親しみやすく、より良いところが出されると感じました。

事務局

表現の修正を検討します。

委員

細かい話ですが、問 8 の「暑さを和らげることができない」、問 9 の「日差しを和らげることができない」は、あえて使い分けているのでしょうか。

事務局

修正漏れですので、「暑さを和らげることができない」に統一します。

委員

問 10 で公園について聞いているので、設問が多くなりますが、公園に求める機能を聞くと良いと思います。

事務局

公園に求める機能については、緑の基本計画とは分けて考えていきたいと考えております。今後、公園に関するアンケート等を別途実施する際に参考とさせていただきたいと考えています。

委員

緑のあみかけに黒の文字は読みづらいので、見やすさに配慮いただければと

思います。

事務局

色を変更するなど、見やすさに配慮いたします。

委員長

他いかがでしょうか。

ここまでにいただいた御意見を踏まえ、アンケートの修正内容を整理します。

設問の新設に関しては、問 8・9・10 については自己所有地、公共、その他と明確に分けて課題を挙げる形に変更すること、問 13 の前に回答者が日常的に行っていること、やってみたいことを伺う設問を追加すること、問 20 の前に緑の機能の関心が高いものを 3 つまで選択していただくような設問を追加することの 3 点について検討するという事で、よろしいでしょうか。

事務局

何点か確認させてください。

問 2 の選択肢の順序は、研究職を公務員の下に入れ替え、農林業（自営業）から始まる形で良いのでしょうか。

委員長

先ほどは研究職を公務員の下に入れ替えるというところまでしか検討していませんでしたが、委員の皆さま意見等ありますでしょうか。

特に御意見等ないようですので、その内容でよろしいかと思います。

事務局

もう 1 点、問 7・8・9 については、自己所有、公共、その他の 3 つに分けて設問を構成するということでしたが、市民目線では研究所や大学の緑は公共の緑に見える可能性もあり、どこに分類するのがよろしいとお考えか、お聞かせください。

委員

公共空間というと大学も入ってくると思いますが、公共の緑として聞くべき

ものは、市が管理する公園や街路樹というようなものかと思います。その他の緑については地区別に農地のケースもあれば、研究所や大学の緑のケースもあるといった分析になるかと思います。その他の緑は、設問を増やしてはいけないとすると、地区でクロス集計して想定していくしかないイメージしていました。皆さまの御意見も聞いた上で検討いただければと思います。

委員長

細かく分けるのは適切でないような気がするので、今御指摘いただいたように、市が直接管理するところ、市民が管理するところ、それ以外に分け、それ以外の緑については、農地、共有林、研究所の緑など具体例をある挙げていくということでいかがでしょうか。

委員

その他の緑については、チェックボックス式で緑の種別も選択してもらい、回答者が想定しているその他の緑を明らかにする方法はいかがでしょうか。

委員長

あるいは少し趣旨が変わってしまうかもしれませんが、具体的な場所を挙げてもらうなど。いかがでしょうか。

委員

細かい緑まで聞こうとすると際限がなくなってしまうので、先生からご提案のあった修正内容が限界ではないかと思います。

委員長

回答者の居住地からある程度類推して、想定される範囲の分析もできるのではないかと思います。

委員

依頼文裏面の「対象とする緑」の図において、回答者に本当にお聞きしたい緑が抜けていないか、あらためて事務局の方でも確認いただきたいです。その他の緑を細分化してお聞きする方が良いのか、その他の緑で設問をまとめて良

いのか、検討いただければ良いかと思います。

委員長

他にいかがでしょうか。

委員

依頼文裏面の「緑の基本計画の基本的な考え方」の図は分かりやすいのですが、市がこの考え方をもとに進めていくことを表現しているのでしょうか。それとも市民のアイデアや資金、能力の提供といった内容も含めているのでしょうか。新しい計画では市民を巻き込んで進めていくということがこの「基本的な考え方」の趣旨だと思うので、図中でもそれを表現することと、文中にも「市民とともに」など、説明を追加すると良いと思いました。

事務局

御意見を踏まえ、表現として「市と市民」など、市民と一緒に進めていきたいという意味が伝わるようにしたいと思います。

委員長

いくつか御意見をいただきましたので、早急に事務局の方で修正案を検討いただき、案が固まりましたら委員の方々にメール等で共有して、御意見をいただき、12月上旬にアンケートが実施できるスケジュールで進めたいと思います。

では、続いて3件目、「市民ワークショップ案について」、事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

委員長

ありがとうございました。ワークショップの説明について、委員の皆様からご質問・御意見等ありますでしょうか。

委員

ワークショップの開催はとても大事だと思っています。

大前提として周知が早い必要があると思っています。明確な課題のある洞峰

公園パートナーシップ会議でも、周知が遅すぎてしまい、参加者が固定化していることが課題だと思っています。今回の場合は、できるだけ多くの方に関心を持ってもらう方が良いと思いますので、本来ならアンケートを実施する段階でワークショップの実施を案内できると良いくらいのタイミングではないかと思っています。4月実施であれば、1月頃にはワークショップ実施の周知を行った方が良いでしょう。

内容は分野別とありますが、協力の仕方やどのように資金を集めるか、どのようなノウハウがあるかということは、全て繋がっているため、資金や能力などで区切ることは適切でないと思います。むしろ、地区ごとに課題が異なりますので、誰が管理しているかわからない土地について考えると、公共の公園について考えるなど、地区ごとの課題に合わせたテーマを設定し、実施する方が対応しやすいのではないのでしょうか。アンケート結果だけでなく、最終的に計画をまとめていくうえで、どこに市民意見が必要なのかを考え、テーマを設定すべきだと考えました。

事務局

周知についてはなるべく早く対応していきたいと思っています。現時点で具体的な開催日程はお伝えできませんが、アンケート末尾に、市民ワークショップの開催を予定していることについて記載します。

テーマ設定につきましては、アンケート案の問14から問16までの緑への貢献について、それぞれ興味がある分野においてワークショップに参加いただくことを想定しておりました。しかし、御指摘のとおり、計画への反映や地区別の差異なども考慮すべきかと思っていますので、再度検討します。

委員長

議題1 今後のスケジュールにおいて、次回の委員会は3月を想定し、ワークショップ内容を決定することとなっています。資料1では、ワークショップの想定に地区別も含まれていて、計6回のワークショップをどのような内容と

するか、今後の計画を念頭に入れ、アンケート調査結果も踏まえ、具体的な実施内容を検討したうえで次回委員会に提示されるということです。

3月に周知するならば、ワークショップの実施は5月、6月になる想定でしょうか。できれば2か月くらいは周知の期間を設けていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

委員

アンケート結果を踏まえて、さらに具体的に聞きたいところや実際に組みたい内容を具体化する場として、ワークショップを活用すると良いと思いました。

ワークショップのタイトルも市民が参加しやすいよう、つくば市の緑に関わりたいと思うような、キャッチーなタイトルを提示できると良いと思います。

委員長

ワークショップを検討する際に、十分に考慮していただきたいと思います。

ワークショップは会議室に集まって話すだけでなく、例えば前半は公園で花植えするなどの手作業を行い、後半に議論していただくなどできていいかもしれません。時期的な問題などありますが、実施に当たっての工夫も検討いただければと思います。

他にいかがでしょうか。

委員

ワークショップで市の取組を紹介したり、自然体験会や農地再生チャレンジ事業などの他のイベントと同時に開催すると、その内容に興味がある方に参加いただけるのではないのでしょうか。

タイトルも重要で、センスが必要なため、この場でアイデア出しをしてはいかがでしょうか。

委員

ワークショップを実施する際に、参加者のお住いの地区や年齢層などの属性

に偏りが生じてしまう可能性があるのであれば、多様な方に参加していただけるようなタイトルや呼びかけが必要だと思います。例えば、花苗をプレゼントすれば緑が好きな人が集まるとか、子育ての方を呼びたいなら託児スペースを設けるなどの工夫があると良いと思います。今の想定では、参加者が偏るようなイメージはありますか。

事務局

地区別の偏りはあまりないのではないかと考えています。感覚的な話にはなりますが、年齢別には、例えばアダプト・ア・パーク制度の中でも御高齢の方の団体が御活躍されているという状況も踏まえると、恐らく御高齢の方が多くなる可能性があるのではないかと考えています。しかし、若い世代の方が活躍していないということではございませんので、若い方にも積極的に参加いただくためのアピールをどのように行っていくかが重要であると思いました。

委員長

何かキャッチーなアイデアなどありますでしょうか。

委員

対象が絞られてはしまいますが、子育て中の方々は緑に興味を持っている人は多いと思いますので、外遊びの仲間を増やしながら御意見を伺うような形も良いのではないのでしょうか。

委員

プレイパークや樹木医の講座と同時開催したり、研究所の研究成果を面白くかみ砕いて紹介するなど、他のイベントと抱き合わせでの実施もできると思います。

委員

固いワークショップというよりも、何かフォーカスできるものがあって、「子育てをしながら何ができるだろう」とか「外遊びと緑の豊かさを考えてみよう」、「耕作放棄地について考えよう」といったテーマの方が参加者が集まりやすい

と思いますが、興味関心によって参加意欲が異なるリスクもあるので、難しいところだと思います。

委員

地域ごとのワークショップがありつつ、プレイパークの横でワークショップを実施し、子育て層の意見を得るなどすると、幅広い市民の意見を反映できるのではないのでしょうか。

委員

拡がりが出そうで良いですね。

委員長

ワークショップの開催回数も6回ありますので、多様な性格を持った内容にすることも検討の価値があるかと思います。

御意見も出尽くしたかと思います。以上で本日の議事は終わりといたします。進行を事務局の方にお返ししたいと思います。

3 その他

司会

委員の皆様におかれましては貴重な御意見いただきありがとうございました。次回の会議の開催は、詳細が決まり次第、追って御連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。以上をもちまして、第3回第2次つくば市みどりの基本計画策定委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

4 閉会

第3回 第2次つくば市緑の基本計画策定委員会

次 第

日 時 令和7年(2025年)11月10日(月)14時から
場 所 つくば市役所 2階 202会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 今後のスケジュールについて 資料1
- (2) 市民アンケートの修正案について 資料2
- (3) 市民ワークショップ案について 資料3

3 そ の 他

4 閉 会

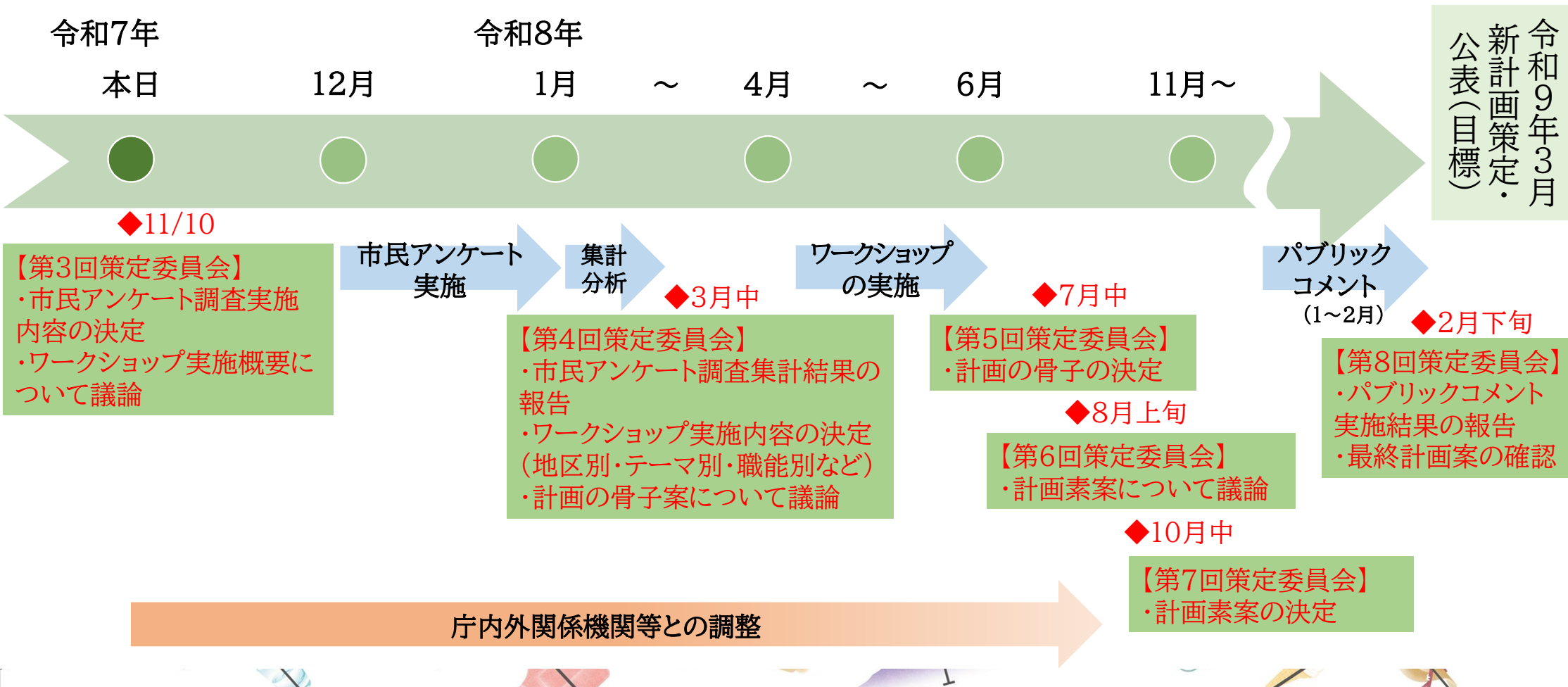
配布資料

次第

- 【資料1】今後のスケジュール
- 【資料2】市民アンケート修正案
- 【資料3】市民ワークショップ案

今後のスケジュール(案)について

◆計画策定・公表までのスケジュール (案)



身近な緑に関する 市民アンケート調査のお願い

つくば市では、市民の皆さまに、身近な緑の現状や課題、緑のまちづくりの取組みに対するニーズ・アイデアを伺うため、本アンケート調査を実施します。

このアンケートの集計結果は、緑が量・質ともに豊かなまちづくりを計画的に進めるため、つくば市緑の基本計画の改定及び緑に関する施策検討の基礎資料とし、「つくば市に住んでいて本当に良かった、これからもつくば市に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆さまと実現していきたいと考えています。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

令和 7 年 12 月 つくば市長 五十嵐 立青

12 月〇日(〇)までに、ご回答をお願いします。

スマホやパソコンで答えたい方

インターネット回答



QR
コード

◀◀ アクセスはこちらから
＜専用ウェブサイト URL＞
<https://〇〇〇.jp/>

□グイン ID：〇〇〇〇

(この ID を入力して回答してください。)

紙の調査票で答えたい方

この用紙に記入して回答

この調査用紙に、直接回答を記入してください。
(次のページから質問が始まります。)

記入が終わったら同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

※郵送料は市が負担するため、切手は不要です。

◆◆調査票のご記入にあたって◆◆

- ・ この調査票は、つくば市の住民基本台帳から無作為に抽出させていただいた 18 歳以上の市民 3,000 名を対象にお送りしています。
- ・ 回答にあたってお名前やご連絡先を記入いただく必要はありません。また、いただいた回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
- ・ 調査への回答はあて名のご本人が行ってください。それが難しい場合は、ご家族の方がお答えいただいても構いません。
- ・ 調査結果は、新しいつくば市緑の基本計画に掲載するとともに、計画案検討に当たり実施を予定しているワークショップでご紹介したり、市ホームページで公表する場合があります。
- ・ 郵送回答とインターネット回答の重複を防ぐため、調査票ごとに ID を設定していますが、回答者個人を特定できないように設定しています。
- ・ 返信用封筒の受取人あて先の下にあるバーコードは、料金受取人払いのために郵便局が使用するもので、個人を特定するためのものではありません。

【お問い合わせ先】

つくば市 建設部 公園・施設課

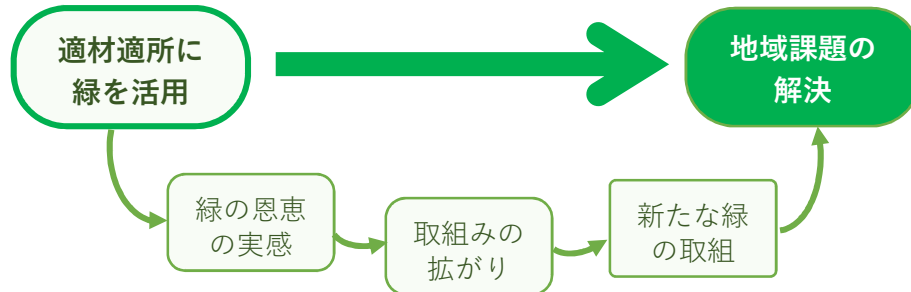
電話：029-883-1111（内線 3442） FAX：029-868-7596

「緑の基本計画」とは

「緑の基本計画」とは、まちの緑について、その将来あるべき姿を描き、どのように緑を守り、創り、育てるかを具体的な指針として明示するもので、都市緑地法に基づいて定める計画です。

「緑の基本計画」の基本的な考え方

本市では、適材適所に緑を活用し、地域課題の解決を図っていききたいと考えています。



この計画が対象とする緑

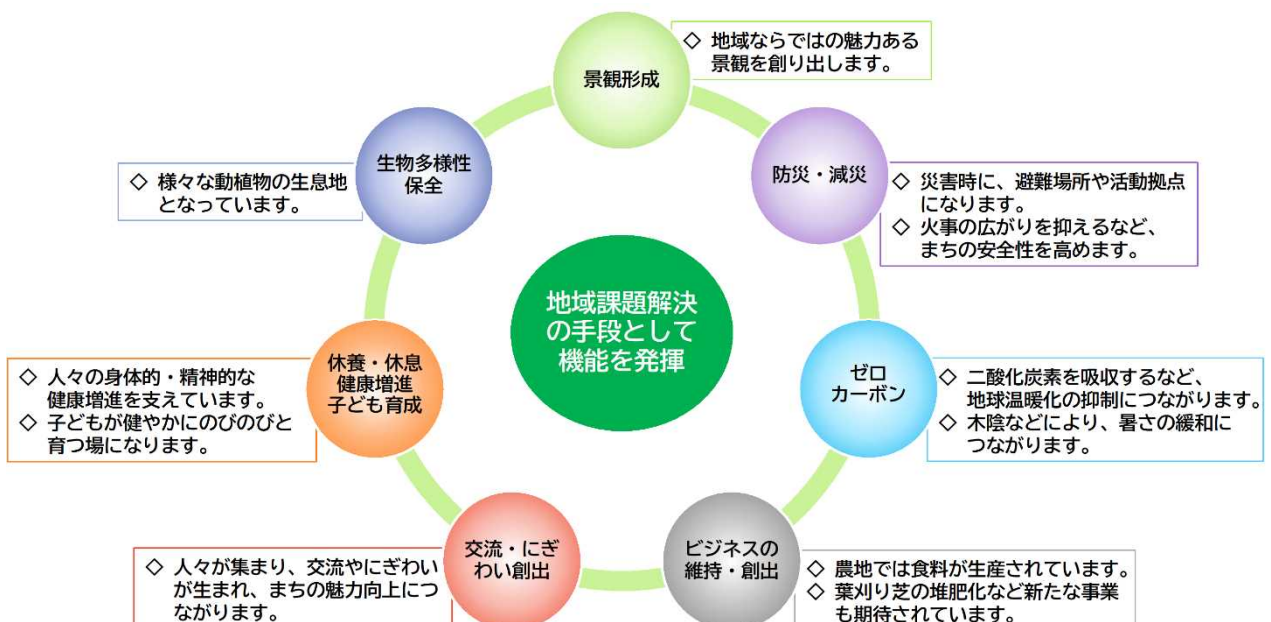
この計画では、樹木や草花などの植物及びそれらを含む周辺の山林や農地、河川、公園、住宅地の緑などを対象とします。



緑の機能

緑は、さまざまな役割をはたし、市民の生活をささえています。

つくば市では、このような緑の機能を活用した施策を進めていききたいと考えています。



身近な緑に関する市民アンケート調査票

1. あなたご自身のことについてお聞きします。

あなたの属性を教えてください。

問1 あなたの年齢（2025年12月1日現在）を教えてください。1つ選んで回答欄に○をつけてください。

回答欄

1. 30歳未満
2. 30歳以上 50歳未満
3. 50歳以上 70歳未満
4. 70歳以上

問2 あなたの職業を教えてください。1つ選んで○をつけてください。

回答欄

1. 研究職
2. 農林業（自営業）
3. 会社員・自営業
4. 公務員
5. 専業主婦・主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他（ ）

問3 あなたの勤務地・通学地を教えてください。1つ選んで○をつけてください。

回答欄

1. 県内（つくば市内）
2. 県内（つくば市外）
3. 県外

問4 あなたのお住まいの大字を教えてください。

回答欄

大字（町丁目）：つくば市（ ） 記入例：吾妻1丁目、谷田部

問5 あなたの住居の形態を教えてください。1つ選んで○をつけてください。

回答欄

1. 一戸建て（持家）
2. 一戸建て（賃貸・間借）
3. 集合住宅（持家）
4. 集合住宅（賃貸・間借）

（裏面に続く）

問6 あなたのつくば市での居住期間（2025年12月1日現在）を教えてください。1つ選んで○をつけてください。

回答欄

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上15年未満
4. 15年以上20年未満
5. 20年以上30年未満
6. 30年以上

2. 身近な緑の好ましい点・課題に感じている点

あなたがお住まいの地域の緑の好ましい点や課題に感じている点を教えてください

また、今後の緑の量についてあなたのお考えを教えてください。

問7 あなたの身近な緑の好ましい点は何ですか。3つまで選んで○をつけてください。その中で最も好ましい点には◎（1つまで）をつけてください。

回答欄

1. 景観が美しい
2. 散歩や運動ができる
3. リラックスできる
4. 交流の場として活用できる
5. 自然観察が楽しめる
6. 災害時の避難場所になる
7. 暑さを和らげることができる
8. その他（ ）

問8 あなたの自宅や所有地で管理している緑の課題に感じている点は何ですか。3つまで選んで○をつけてください。その中で最も好ましくない点には◎（1つまで）をつけてください。

回答欄

1. 維持・管理に手間がかかる
2. 維持・管理に費用がかかる
3. 維持・管理のノウハウが分からない
4. 後継者がいない
5. 見た目が美しくない
6. リラックスできない
7. 暑さを和らげることができない
8. 害獣・害虫が発生する
9. その他（ ）

問9 あなたの自宅や所有地以外（公園・道路・空き家など）の身近な緑の課題に感じている点は何ですか。3つまで選んで○をつけてください。その中で最も好ましくない点には◎（1つまで）をつけてください。

1. 維持・管理が適切に行われていない
2. 見た目が美しくない
3. 散歩や運動ができない
4. リラックスできない
5. 自然観察が楽しめない
6. 災害時の避難場所にならない
7. 日差しを和らげることができない
8. 害獣・害虫が発生する
9. その他（ ）

問 10 あなたは、お住まいになっている地域の公園・広場・遊び場の管理の状況について、どのように感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. 普通である
4. どちらかという不満である
5. 不満である
6. わからない

問 11 あなたは、お住まいになっている地域の緑や自然の豊かさについて、どのように感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. 普通である
4. どちらかという不満である
5. 不満である
6. わからない

問 12 あなたは、お住まいになっている地域の緑の量を今後どのようにしていくべきだと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 増やすべき
2. 現状の量を維持すべき
3. 減らすべき
4. わからない

(裏面に続く)

3. あなたができる緑への貢献/あなたが欲しいバックアップ

あなたができる緑への貢献はどのようなものか教えてください。

また、その貢献を行う上で、市からどのようなバックアップがあるとよいか教えてください。

問 13 あなたは、問7から問9までに回答した緑の好ましい点を維持し、好ましくない点を改善するために、どのような貢献ができますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

回答欄	
<input type="checkbox"/>	1. 労力の提供 → 1を選んだ方は問14をお答えください。
<input type="checkbox"/>	2. 資金・物品の提供 → 2を選んだ方は問15をお答えください。
<input type="checkbox"/>	3. 知識・知恵の提供 → 3を選んだ方は問16をお答えください。
<input type="checkbox"/>	4. その他 → 4を選んだ方は問17をお答えください。
<input type="checkbox"/>	5. 貢献することは難しい → 5を選んだ方は問18をお答えください。

問 14 問13で1を選んだ方に伺います。あなたができる「労力の提供」は具体的にどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

回答欄	
<input type="checkbox"/>	1. 樹木伐採・剪定
<input type="checkbox"/>	2. 植樹や花植え
<input type="checkbox"/>	3. 草刈りやゴミ・落ち葉集め
<input type="checkbox"/>	4. 樹木や植栽の見守り、異常発生時の通報
<input type="checkbox"/>	5. 緑地保全や緑化イベントへの参加
<input type="checkbox"/>	6. 省エネ(節水・節電など)
<input type="checkbox"/>	7. 省資源(リサイクルなど)
<input type="checkbox"/>	8. 自宅の緑化
<input type="checkbox"/>	9. その他()

問 15 問13で2を選んだ方に伺います。あなたができる「資金・物品の提供」は具体的にどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

回答欄	
<input type="checkbox"/>	1. 緑の取り組みに用途を限定した新しい税金の支払い
<input type="checkbox"/>	2. クラウドファンディングへの出資
<input type="checkbox"/>	3. 募金
<input type="checkbox"/>	4. 環境配慮製品の購入
<input type="checkbox"/>	5. 地産地消の推進
<input type="checkbox"/>	6. 土地の寄付
<input type="checkbox"/>	7. 物品の寄付
<input type="checkbox"/>	8. 土地の貸出
<input type="checkbox"/>	9. 物品の貸出
<input type="checkbox"/>	10. その他()

問 16

1. 緑地保全（自然観察会など）イベントの開催
2. 緑化（庭の手入れ講座など）イベントの開催
3. 緑空間を活用したイベントの開催
4. 行政の施策への助言
5. SNSでの情報発信
6. 身近な人々への呼びかけ・アドバイス
7. その他（

問 17

(自由記述)

問 18

1. 機会の提供・調整
2. 場所のマッチング
3. 専門家のアドバイスやサポート
4. 活動資金の補助
5. 活動成果の広報
6. コミュニティ・連携プラットフォームの提供
7. その他（

問 19 つくば市では以下のような緑に関する取組を実施しています。以下の取組を知っているか、また参加したことがあるか、興味があるかについて、それぞれあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。
(取組みの内容については、別添資料「つくば市が実施している緑に関する取組み」をご覧ください。)

	①認知の状況			②参加の有無		③興味の有無	
	知っている	聞いたことはある	知らない	ある	ない	ある	ない
生け垣設置奨励補助金							
アダプト・ア・パーク/ロード							
プレイパーク							
筑波ふれあいの里							
つくばペデカフェプロジェクト							
農地再生チャレンジ事業 (遊休農地でのジャガイモ収穫)							
自然体験会							
森林バンク制度							

4. つくば市の緑化や緑地保全に関する施策・取組み等に関する自由意見

緑について、あなたの自由な御意見をお聞かせください。

問 20 その他ご意見やご提案があれば自由にお書きください。(自由記述)

質問は以上になります。ご協力いただきありがとうございました。

この調査票は 12 月●日(●)までに返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。(切手不要)

市民の皆さまが参画する緑に関する取組みは、アンケートでいただいた意見を参考に、
市民ワークショップで具体化していきます。

開催が決まりましたら、広報つくばやつくば市公式HPなどでお知らせいたします。

つくば市が実施している緑に関する取り組み

つくば市が実施している緑に関する取り組みから一部をご紹介します。
ぜひ御参加（御利用）ください！

生け垣設置奨励補助金

Q R

挿絵

緑のまちなみづくりや防災などの観点から、生け垣の新設を行う市民に補助金を交付しています。

アダプト・ア・パーク/ロード

Q R

挿絵

ボランティアとして公園や道路の環境美化（清掃や除草など）活動する方を募集・支援しています。

プレイパーク（冒険遊び場）

Q R

挿絵

プレイリーダーのサポートのもと、子どもたちが想像力で工夫して遊びを作り出すことのできる遊び場を提供しています。

流星台プレイパーク（つくば市流星台59番地）

筑波ふれあいの里

Q R

挿絵

筑波山ろくの豊かな自然環境の保全や活用を通じて、学童や都市生活者及び市民等が農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図っています。

筑波ふれあいの里（つくば市臼井2090番地20）

（裏面に続く）

つくばペデカフェプロジェクト

Q R

挿絵

つくばセンター広場をはじめとした公共空間を活用し、イベントやオープンカフェ等の取組を実施したい団体に対し手続きのサポートや物品の貸出等の支援を行っています。

農地再生チャレンジ事業 (遊休農地でのジャガイモ収穫体験)

Q R

挿絵

農業従事者の減少や高齢化などにより増加している遊休農地の解消とその有効活用に向けて、再生した農地で栽培したジャガイモの収穫体験と再生した農地の営農者への引き渡しを行っています。

自然体験会

Q R

挿絵

身近な自然について関心を持ち、人々の暮らしとのつながりを認識し、生物多様性がもたらす自然の恵みについて理解を高めるため、様々なテーマの自然体験会を実施しています。

森林バンク制度

Q R

挿絵

森林所有者と森林を活用したい人とを結びつけることで、森林が人々の活動と交流の場として活用される過程で維持管理が行われ、最終的に森林の保全につなげることを目指しています。

つくば市 市民アンケート調査 集計方法の検討

設問			単純集計	クロス集計 (○：単一クロス(例 問13×問1) ◆：複数クロス(例 問14×問1×問4))							備考	
				問1 年齢	問2 職業	問3 勤務地・通学 地	問4 居住地	問5 居住形態	問6 居住年数	その他		
1. 属性	問1	年齢	円グラフ									
	問2	職業	円グラフ									
	問3	勤務地・通学地	円グラフ									
	問4	居住地	円グラフ(4区分)・地区内訳表	○							・地区別の年齢構成特徴を把握	
	問5	居住形態	円グラフ									
	問6	居住年数	円グラフ									
2. 身近な緑の良 いところ・悪いと ころ/満足度	問7	身近な緑の好ましい点	横棒グラフ	○	○		○		○		・地区別・年齢別の ニーズ把握 ・身近な緑の満足度 等は居住年数の影響 を想定 ・問8は、居住形態 による違いを把握	
	問8	自宅や所有地の緑の好ましくない点	横棒グラフ	○	○		○	○	○			
	問9	自宅や所有地以外の身近な緑の好ましくない点	横棒グラフ	○	○		○		○			
	問10	公園・広場・遊び場の管理状況の満足度	円グラフ	○	○		○		○			
	問11	緑や自然の豊かさの満足度	円グラフ	○	○		○		○			
	問12	地域のみどりの量の今後について	円グラフ	○	○		○		○			
3. あなたがで きる緑への貢献/欲 しいバックアップ	問13	貢献できること	横棒グラフ	○	○	○	○				・貢献は職業(専門 性・時間有無)の影響 を想定 ・WSの事前データー として地区・年齢別 の特徴把握	
	問14	「労力の提供」の具体的内容 [問13関連]	横棒グラフ	◆		○	◆					
	問15	「資金・物品」の具体的内容 [問13関連]	横棒グラフ	◆		○	◆					
	問16	「知識・知恵の提供」の具体的内容 [問13関連]	横棒グラフ	◆		○	◆					
	問17	「その他」の具体的内容 [問13関連]	意見一覧表 (内容で分類)									
	問18	市からのバックアップ	横棒グラフ	◆		○	◆					
4. 緑化や緑地保 全に関する施策・ 取組等	問19	自由記述	意見一覧表 (内容で分類)									・地区別・年齢別の ニーズ把握 ・認知に対して参 加・興味の有無を把 握
	問20	①認知の状況	円グラフ	○			○					
		②参加の有無	円グラフ	○			○			問20①		
		③興味の有無	横棒グラフ	○			○			問20①		

市民ワークショップの概要（案）

位置付け

市民アンケート

- ・ 市民目線の緑の現況・課題
- ・ 市民が参画しやすい取組分野
- ・ 市民が取組みに参画するために行政に求めるバックアップ

市民ワークショップ

- ・ 市民が参画する緑の取組みの具体化

市民と協働する施策

骨子

○目的

市民アンケートの分析結果を踏まえ、市民が参画する緑に関する取組みのアイディア出し・取組みの具体化等。

ワークショップの結果は緑の基本計画に位置付ける施策の参考にする。

○対象

つくば市在住の方（年齢制限なし）
子供連れの方・学生歓迎

○回数等

分野別（労力/資金・物品/知識・知恵）
に各2回、計6回開催

○内容

1回当たり2時間想定

緑に関する認識の共有（5分程度）
新計画のポイント（5分程度）
市民アンケート分析結果共有（10分程度）
グループワーク（1時間20分程度）
（緑の現況・課題の発散）
（取組みに関するアイディア出し）
（取組みの具体化）
（行政に求めるバックアップ）
まとめ（20分程度）

○開催場所

つくば市役所
大穂交流センター
洞峰公園新都市記念館
ふれあいプラザ
など